MitsuiSougou通信

停電への備え

台風や大雨などの自然災害により、停電が発生する場合があります。
万一に備え、日頃から災害への対処方法を確認しておきましょう。

≪台風や低気圧のときは≫

●台風や低気圧が発生したら

テレビ、ラジオ、インターネットなどで、台風や低気圧の位置や予測進路などの情報をこまめに確認しましょう。
強風により、樹木や看板、アンテナなどが飛ばされ、電柱や電線にかかり、停電の原因になる場合があります。
あらかじめしっかり固定しておきましょう。このほか、以下のチェックポイントを参考に、備えましょう。
暴風雨や暴風雪の場合は、家の中など安全な場所で待機しましょう。

【台風や低気圧への備え～チェックポイント～】
- □屋外のビニールシートは片付けるか、しっかりと固定したか。
- □植木鉢や物干し竿などを屋内に入れたか。
- □庭やベランダにある飛びやすいものは、固定するか屋内へ入れたか
- □エアコンの室外機やプロパンガスのボンベは固定されているか。
- □浸水する恐れのある地域では、土のうを準備したか。
- □携帯電話の充電はしたか。
- □防寒衣など寒さへの備えは準備したか。（冬の場合）

●落雷を伴う場合は

落雷による電気製品の故障を防ぐため、雷が発生したときはコンセントからプラグを抜きましょう。
※近くで雷が鳴っている場合は、プラグを抜くこと自体が危険な場合もありますので、ご注意ください。
パソコンなどのコンピューター機器は、雷の影響による瞬時の電圧低下などによって、誤作動やデータの消失を起こす場合があります。このようなトラブルを防ぐには、あらかじめ市販の無停電電源装置（UPS）の設置をおすすめします。

●家が停電した場合は

再び電気がついたときの事故防止のため、アイロンやドライヤーなどの電熱器具はコンセントからプラグを抜いておきましょう。

●災害のあとは

災害のあと、屋内配線と電気製品の安全を確認しましょう。見た目は壊れていなくても、中が損傷している場合もあります。漏電や火災の原因となる場合がありますので、異常を感じたら、必ず電気店などで点検してもらい、安全が確認されてから使用しましょう。

【電気製品～チェックポイント～】
- □転倒、落下の形跡はないか。　□水がかかった形跡はないか。
- □異常な音や臭いはしないか。　□コードやプラグが損傷していないか。

※ブレーカーなどを操作しても電気がつかない場合や、操作がわからない場合は、電力会社に連絡してください。
※ガスの臭いがするなど、ガス漏れの恐れがあるときは電気を使用しないでください。窓を開けて換気し、ガス会社に連絡してください。

【災害時に役立つアイテム】

・懐中電灯　・ラジオ　・保安灯　・非常用持ち出し袋　・カセットコンロ
・携帯電話・スマートフォンの予備バッテリー・電池パック　・防寒衣など寒さへの備え

★使用する際はご注意ください！
・照明の代わりにローソクを使うときは火災に十分注意しましょう。
・小型発電機は短時間であっても室内では絶対に使用しないでください。また、暖房や調理のため、室内で木炭や練炭を七輪などで使用しないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあるため、必ず屋外や風通しのよい場所で使いましょう

安全運転アドバイス

最近の車は壊れにくくなったといわれます。しかし、定期的な整備を怠ったり、想定していなかった事態によってトラブルが発生することがあります。
万一のトラブルに備えて、今回はトラブル発生時の措置を紹介します。

【電気の使い過ぎがバッテリー上がりを招く】

エンジンをかけてもモーターが回らなかったり、運転中突然エンジンが停止してしまうことがあります。これはバッテリー上がりが原因です。バッテリー上がりの原因で多いのが電気の使い過ぎです。渋滞に巻き込まれたときにエアコンをつけっぱなしにしたり、駐車時にヘッドライトを消し忘れたりすると、消費電力がエンジン稼働による充電量を上回ってしまいバッテリー上がりを招きます。バッテリーが上がってしまった場合の対処法としては、ブースターケーブルで他の車（ハイブリット車などを除く）とつないで電気を分けてもらう「ジャンピングスタート」や、他車を必要とせず単独で行える、蓄電機能を有する機器「ジャンピングスターター」を使用する方法などがあります。また、バッテリー自体が破損していたり、寿命を迎えている場合もありますから、整備工場などで点検してもらいましょう。

【オーバーヒートは冷却水不足などで起こる】

オーバーヒートはエンジンが過熱してパワーが徐々に低下したりエンストを起こす現象です。オーバーヒートは冷却水不足や冷却ファンの異常などが原因で起こります。運転中、水温計の針が急激に「H」に振れてきたり、水温の警告灯が点灯した場合は、木陰など太陽の光を遮ることができる場所に停車しましょう。
その後、ボンネットを開け、水温計が「C」と「H」の間くらいに下がるまでエンジンを切らず（※）に待ちます。
ボンネットを開けるときは、エンジンルームが高温になっているので、注意してください。
※冷却水等が漏れている、冷却ファンが回っていない場合は、エンジンを止めてください。

【タイヤトラブルで慌てない】

トラブルのなかで多いのが、バーストやパンクといったタイヤトラブルです。とくに高速道路ではバーストが多く発生しています。バーストとは、走行中にタイヤが破裂してしまうことです。バーストの原因で最も多いといわれているのが空気圧の低下です。空気圧が低いタイヤで高速走行を続けていると、タイヤ全体がたわんでしまう「スタンディングウェーブ現象」が起こります。この状態が続くとタイヤが熱を持ち、回転に耐えられなくなって破裂してしまうのです。バーストが起こったら慌てて急ブレーキを踏んだり急ハンドルを切らず、ハザードランプを点滅させ、ゆっくりと路肩や安全な場所に車を止めてください。一方、パンクは釘などの尖ったものがタイヤに刺さったり、タイヤの側面を縁石などに擦ってしまうことで起こります。
釘などが刺さった場合は急激に空気が抜けることはないので、速度を落として走行し、整備工場などで修理してもらいましょう。

◆おいしいレシピ◆　～焼き鳥缶の親子丼 ～

缶詰でも親子丼が！
焼き鳥缶と卵があれば、味付けなしでも親子丼の具が作れます。玉ねぎを入れれば更においしさアップ！

【材料】1人分
- ・焼き鳥缶(たれ) 1缶　・めんつゆ(2倍希釈) 大さじ2
- ・玉葱 50g(1/4個位)　・水(ペットボトル) 50cc　・ご飯　1食分
- ・焼のり(味付け海苔)無くても可 適量　・七味唐辛子(お好みで) 適量

【作り方】
1. 玉葱は薄切りにしておく。
2. 鍋を火にかけ、めんつゆ、水、玉葱、焼き鳥を加え、玉葱がやわらかくなるまで煮る。
3. 卵を器に割って軽く混ぜ、2の鍋に全体にいきわたらせるように回し入れる。
4. 卵が半熟状になったら火を止める。
5. 丼に(非常時はラップフィルムを貼り付け)ご飯を盛り、上から4をそっと汁ごとのせる。
6. 焼きのりを適当にちぎって5の上にのせる。